

2019 年度
小学校外国語活動
年間指導計画
指導案例集

第3学年

2019 年 3 月
那覇市教育委員会

2019年度 外国語活動 3学年 年間指導計画一覧表
教材名 "Let's Try! 1" (15時間)

実施月	時間	単元名 時間数	指導目標	主な表現	主な語彙
4月 ～ 7月	1	Unit1 Hello!	【慣・気】世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。	Hello. I'm ~. Goodbye See you.	hello, hi, goodbye, see you, friend, I, am
	2	「あいさつをして 友だちになろう」	【気】世界にはさまざまな言語があることに気付く。 【コ】相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って 挨拶を交わそうとする。		
	3	Unit4 I like blue. 「好きなものを つたえよう」	【気】多様な考え方があることに気付くとともに、色の 言い方や、好きなものを表す表現を知る。	I like ~. Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. I don't like ~.	like, do, not, don't, too 色 red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown スポーツ soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming 飲食物 ice cream, pudding, milk, orange juice 果物・野菜 onion, green pepper, cucumber, carrot
	4		【慣】外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語 との違いに気付くとともに、好みの表す表現に慣れ親 しむ。		
	5		【コ】好きかどうか尋ねたり答えたりする表現に慣れ 親しみ、自分の好みを伝え合う。		
9月 ～ 12月	6	Unit6 ALPHABET 「アルファベットと なかよし」	【慣】活字体の大文字の読み方を知る。 【気】身の回りにはアルファベットの文字で表されてい るものがたくさんあることに気付く。	(The "A" card), please Here you are. Thank you. You're welcome.	大文字 (A～Z) the card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数字 (21～30, 0) book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht
	7		【慣】活字体の大文字と読み方に慣れ親しむ。		
	8		【慣】活字体の大文字と読み方に慣れ親しむ。		
	9		【コ】相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の 頭文字を伝えようとする。		
	10	Unit8 What's this ?	【気】外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。 【慣】身の回りの言い方に慣れ親しみ、ある物が何か を尋ねたり答えたり表現を知る。	What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.	it, hint, sea, 動物 elephant, horse
	11	「これなあに？」	【慣】身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ね たりする表現に慣れ親しむ。		
1月 ～ 2月	12	Unit9 Who are you ? 「きみはだれ？」	【気】絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、 日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気付く。	Are you (a dog) ? Yes, I am. / No, I'm not. Who are you ? I'm (a dog). Who am I ? Hint, please.	who 動物 cow, dragon, snake, tiger, sheep, chicken, wild, boar 状態・気持ち long, shiny, scary, round, furry 身体部位 head, eyes, ears, nose, mouth, shoulders, knees, toes
	13		【慣】絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が 分かる。		
	14		【気】日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付 くとともに、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ 親しむ。		
	15		【コ】誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。		

3 年—Unit1

単元名 Hello!あいさつをして友だちになろう

1. 単元目標

- ・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
- ・名前を言って挨拶をし合う。
- ・相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶をしようとする。

2. 言語材料

○ Hello, Hi, I'm (Hinata). Goodbye. See you.

○挨拶(hello, hi, goodbye, see you), friend, I, am

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画(2 時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○)【 】＝誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ○外国語活動の時間に、どのような活動をしていくのかを知る。 【Let's Watch and Think】p.2 ・映像資料を視聴し、世界にはさまざまな国があり、国の様子や言語や挨拶も違うことに気付く。 ○世界のさまざまな言語で挨拶をする。 ・教室内を自由に歩き、友達とさまざまな国の言葉で挨拶をし合う。 ○挨拶をして自分の名前を言い、名札をもらう。 ・指導者に挨拶をして自分の名前を言い、指導者から名札を受け取る。 【Let's Chant】Hello! p.3	※外国語活動第 1 時であることから、目標に向けての指導は行いが、評価の記録は残さない。
	◆世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫しながら名前を言ってあいさつを交わそうとする。 【Let's Watch and Think】p.2 ・映像資料で登場人物の挨拶と名前(自国の言葉と英語)を聞く。 【Let's Listen】p.4 ・挨拶を聞いて登場人物と国旗を線で結ぶ。 【Let's Chant】Hello! p.3 ○パス・ゲーム ・ボール等を順に回し、指導者と挨拶を交わし自分の名前を言う。 【Activity】p.5 ・自由に歩いて、友達と挨拶を交わし名前を言い合う。	◎世界には、さまざまな言語があることに気付いている。 〈行動観察/振り返りカード分析〉【気】 ◎名前を言って挨拶をし合っている。 〈行動観察/振り返りカード点検〉【慣】 ◎相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わしている。〈行動観察/振り返りカード点検〉【こ】

3 年 Unit1-Lesson1		単元名 Hello!あいさつをして友だちになろう	1/2 時間
目 標	世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。【慣】		
準 備	デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(国旗), ワークシート(Unit1-2,1-3 めいしカード), 名札(各児童用) 振り返りカード		
時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。この時、児童は英語での挨拶の仕方を知らないと思われる。指導者は、Hello.と言いながら、児童にその通りに返すよう促すとよい。	
10 分	○外国語活動の時間に、どのような活動をしていくのかを知る。	・テキストの表紙などから気付いたこと等を自由に発表させ、テキストのタイトル「Let's Try!」に込められた願いにも触れながら、これから行う外国語活動への意欲や期待が高まるようにする。	児童用テキスト デジタル教材
「Let's Try!」というタイトルについて “Let's”とは、話し手も聞き手も含めてみんなでという意。“Try”は、間違ってもいいからやってみるという意味。外国語活動では、間違いを恐れず、みんなで外国語を使って互いの気持ちや考えを伝え合おうとすることを大切にしたい。そのためにも、指導者自ら外国語を使うことを心掛けたい。			
10 分	【Let's Watch and Think】P. 2 ・映像資料から、世界にはさまざまな国があり、国によって言語や挨拶の仕方が違うことに気付く。	・世界地図や登場人物等に目を向けさせ、児童の興味を喚起しながら映像資料の視聴、につなげる。 ・さまざまな国の様子や、言語、挨拶の違い等に気付かせる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(国旗)
①Finland フィンランド: Terve.(テルヴェ) ②China 中国: 你好。(ニーハオ) ③Germany ドイツ: Guten Tag.(グーデンターク) ④Japan 日本: こんにちは。 ⑤Kenya ケニア: Jambo.(ジャンボ) ⑥India インド: "iHQ (ナマステ) ⑦Korea 韓国: 안녕하세요 .(アンニョンハセヨ) ⑧America アメリカ: Hello.			
5 分	○世界のさまざまな言語で挨拶をする。 ・世界の言語で挨拶をする。	・児童の実態に合わせて数カ国を選び、「世界旅行に行つてあいさつをしよう!」などと言葉かけをして意欲付けを図り、活動を通して世界にはさまざまな言語や挨拶があることを感じ取らせる。	教師用カード(国旗) デジタル教材
進め方 ・挨拶をする国を 3～4 カ国決める。音楽が流れている間児童は自由に教室内を歩く。指導者は Stop!などと声をかけ、国旗を押さえたり、デジタル教材の映像を見せたりして、国名、例えば、China!などと言う。 ・再び音楽がスタートするまで、中国に行つたつもりで、数名の友達と中国語で挨拶を交わす。他の国でも同様に活動を繰り返す。慣れてきたら、児童に指導者役をさせるとよい。			
5 分	○挨拶をして自分の名前を言い、名札をもらう。 ・指導者に挨拶をして自分の名前を言い、指導者から名札を受け取る。	・児童一人ひとりと挨拶を交わし、名前を言わせて名札を手渡す。複数の指導者がいる場合は、分担して行い、1 人の場合は活動時間の確保のため、授業前に渡すようにしてもよい。 ・児童が名札を受け取る際には、Thank you.と言うよう促す。また指導者も、渡す際には Here you are.と言い、児童の Thank you.という返事に対して、You're welcome.と返すことを心掛けたい。このようなコミュニケーションを豊かにするやり取りを大切にしたい。	名札(ローマ字で児童の名前を書いた名札を児童数分用意しておく) ワークシート(Unit 1-2,1-3 めいしカード)
4 分	【Let's Chant】Hello! p.3 ・音声を実似てチャンツを言う。	場面を見せ、把握させる。 ・慣れるまでゆっくり真似て言わせ、指導者も児童と一緒に言う。 Hello,(hello,)hello,I'm Emily. Hi, (hi,) hi, I'm Takeru. Let's, let's, let's be mends!	
7 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

目 標 目標世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。【気・コ】

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(国旗), ボール等, ワークシート(Unit1-1 あいさつビンゴシート)CD (音楽), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
10 分	【Let's Watch and Think】 p.2 ・再度映像資料を視聴する。 ①Finland フィンランド: Terve.(テルヴェ) ②China 中国: 你好。(ニーハオ) ③Germany ドイツ: Guten Tag.(グーデンターク) ④Japan 日本: こんにちは。 ⑤Kenya ケニア: Jambo.(ジャンボ) ⑥India インド: नमस्ते (ナマステ) ⑦Korea 韓国: 안녕하세요 .(アンニョンハセヨ) ⑧America アメリカ: Hello.	・前時の誌面を開かせ、それぞれの国の様子や挨拶について想起させ、再度視聴させる。 ◎世界には、さまざまな言語があることに気付いている。〈行動観察振り返りカード分析〉	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (国旗)
7 分	○【Let's Listen】p.4 ・音声聞いて、登場人物と国旗を線で結ぶ。 1 Hello. I'm Olivia. I'm from America. 2 Jambo. Hello. I'm Jomo. I'm from Kenya. 3 안녕하세요 .(アンニョンハセヨ) Hello. I'm Tb-yun. I'm from Korea. 4 नमस्ते (ナマステ) Hello. I'm Anita. I'm from India. 5 Guten Tag. Hello. I'm Leon. I'm from Germany. 6 你好。(ニーハオ) I'm Shin-han. I'm from China.	・誌面の登場人物を見て、国名や挨拶を予想させるなどして、活動への興味を高めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(国旗)
3 分	○【Let's Chant】 Hello! p.3 ・音声に合わせてチャンツを言う。 ・自分の名前でチャンツを言う。	・指導者も一緒に言う。 ・慣れてきたら、カラオケバージョンを活用して児童に自分たちの名前を言わせるようにし、英語を使ったコミュニケーションへの意欲付けを図る。 ・慣れてきたら、チャンツの名前を児童の名前に替えて言うことで、よりチャンツへの興味が高まると思われる。 Hello,(hello,)hello,I'm Emily. Hi, (hi,) hi, I'm Takeru. Let's, let's, let's be mends!	名デジタル教材 児童用テキスト
5 分	○パス・ゲーム ・指導者と対決を交わし自分の名前を言う。 Hello! I'm ~.	・数名の児童とデモンストレーションを示し、進め方を理解させる。 ・活動に慣れるまでは指名の仕方に配慮をする。 ・学級の実態に合わせて、全体、グループで行うなど活動形態にも配慮する。	ボール等 (パスできる物) CD (音楽)
	パス・ゲームの進め方 ・音楽に合わせて、児童がボールなどを順にパスする。 ・指導者が Stop! などと言った時 (音楽が止まった時) に、ボールを持っている児童と指導者が挨拶を交わし名前を言い合う。その際、児童の実態に合わせて、Here you are. Thank you. とボールの受け渡しをすることも考えられる。		

15 分	[Activity] p. 5 ・自由に歩いて友達と挨拶をして名前を言い合い、相手のテキスト誌面に自身の名前を日本語で書く。	・教室を自由に歩いて、出会った友達と挨拶をして、名前を伝え合うと言う。名前を伝え合ったら、相手のテキスト誌面に自身の名前を書くよう指示する。 ・活動を途中で一旦止める。前半で、指導者は挨拶や名前を言い合う際に気持ち良いやり取りをしていたペアを探しておき、その児童にみんなの前で挨拶等を再現させる。そのペアのやり取りから良かった点を他の児童に発表させ、それらに気を付けて後半をやってみよう声かけをすることで、後半のやり取りがより相手に伝わるよう工夫したものになることが期待できる。 ・誌面に挨拶を交わした友達の名前を記載するのは、何人と挨拶ができたかを競うためではないことに留意させる。自身が英語を使って友達と挨拶をしたことが可視化されることで、児童が自分の頑張りを認められるようにするためである。 ◎名前を言って挨拶をし合っている。(行動見察・振り返りカード点検) ◎相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わしている。(行動見察・振り返りカード点検)	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-1 あいさつビンゴシート)
7 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

3 年—Unit 4

単元名 I like blue. すきなものをつたえよう

1. 単元目標

- ・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
- ・名前を言って挨拶をし合う。
- ・相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶をしようとする。

2. 言語材料

- I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
- like, do, not, don't, too, 色(red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown), スポーツ(soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming), 飲食物(ice cream, pudding, milk, orange juice), 果物・野菜(onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow
[既出]挨拶・自己紹介, 状態・気持ち

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画 (3 時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】,○)【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	◆多様な考え方があることに気付く(とともに、色の言い方や、好きなものを表す表現を知る。【気】) ○歌 Hello Song (Unit 2) 【Activity 1】p.15 ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。 [Let's Watch and Think 1] p.14 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し自分たちの作品との違いや共通点に気付く。 ○自分の虹を紹介しよう。 ○好きな色を教えて。 ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。 ○歌: Goodbye Song (Unit 2)	◎多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉 【気】
2	◆外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く(とともに好みを表す表現に慣れ親しむ。【慣】) ○歌 Hello Song (Unit 2) ○シャツフル・クイズ ・指導者が指したカードが何色かを答える。 [Let's Listen 1] p.16 ・誰が何色を好きかを聞いて線で結ぶ。 [Let's Sing] The Rainbow Song p.15 ○先生の好きなものとそうでないものを知ろう。 [Let's Listen 2] p.16 ・音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。	◎世界には、さまざまな言語があることに気付いている。 〈行動観察・振り返りカード分析〉【気】 ◎色を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉【慣】

【Let's Chant】I like blue. p.15 (②“I like soccer”スポーツ編) ○カード・デステイニー・ゲーム ○歌 Goodbye Song (Unit 2)	◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。〈行動!見察・振り返りカード点検〉 ◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動見察・振り返りカード点検〉
◆好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う。【コ】	
○歌 Hello Song (Unit 2) 【Let's Sing】The Rainbow Song p.15 【Let's Listen 3】p.16 ・会話を聞いて、登場人物の好きなものをで囲む。(色, スポーツ, 食べ物) 【Let's Watch and Think 2】p.17 ・登場人物が好きかどうかを予想して○や△を記入し、Do you like ~?と尋ねる。 ○ ○×クイズ ・友達に好き嫌いを尋ねる。 【Let's Chant】I like blue. p.15 (③“Do you like soccer?”スポーツ・QA 編) 【Let's Play】 p.17 ・友達の好き嫌いを予想してインタビューする。 ○歌 Goodbye Song (Unit 2)	◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動見察・振り返りカード点検〉 ◎自分の好みを伝え合っている。〈行動見察・振り返りカード点検〉

目 標 多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方や、好きなものを表す表現を知る。【気】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(色)、色鉛筆など、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2 分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
1 分	○歌 Helb Song (Unit 2)	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
10 分	【Activity 1】 p.17 ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。	・誌面にあるさまざまなものを指し What's this?などと尋ねながら、「虹」という児童のつぶやきを拾い、「rainbow」という言葉を聞かせる。虹を見た時の様子等についても簡単に尋ねるなどして、虹を描くことに誘う。 ・自由に色を塗り、虹を完成させることを告げる。 T: Look at your textbook. Please color the rainbow. Please make your original rainbow. ・塗った色や頼などを尋ね、色の言い方を何度も聞かせ、慣れ親しませるようにする。 red, light green, purple, orange, light blue, yellow, green, white, pink など。	児童用テキスト 教師用カード(色) 色鉛筆など
10 分	【Lets Watch and Think 1】 p.14 ・映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し自分たちの作品との違いや共通点に気付く。	・外国の子供たちはどのような虹を描くのか、児童の興味・関心を高めながら映像資料の視聴につなげ、自分たちの作品との違いや共通点に気付くよう言葉かけをする。 T: Please watch the video. What colors can you see in the rainbow? Are they beautiful? ・どのような色で描かれているかを児童と痛忍することを通して、児童に色の言い方を繰り返し聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れるようにする。 ◎多様な考え方があることに気付いている。(行動!見察・振り返りカード分析)	デジタル教材 教師用カード(色) 児童用テキスト
10 分	○自分の色の虹を紹介しよう。	・数名の児童の虹を取り上げ、その児童と一緒に虹の色をみんなに紹介する。この活動を通して、さらに色の言い方を何度も聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れ親しませる。 ・ペアで自分の虹を紹介し合うように言う。 ・どのような色が虹にあるかを全体から発表させ、その色の教師用カード(色)を黒板に掲示し、次の活動につなげる。	教師用カード(色)
5 分	○好きな色を教えて。 ・指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。 ・指導者の質問などに応じて、色を言う。	・前活動で黒板に掲示した教師用カード(色)をそのままにしておく。 ・自身の洋服などの色を指し示しながら、What color is this? Look. This is ~. I like ~.などと好きな色を紹介し、好きなものを表す表現に出会わせる。黒板に掲示してある色カードをさしながら児童にI like ~. Yes? No?などと問いかけ、発話を促す。児童の答えに応じて、児童を指してYou like ~.自身を指してI like ~.と何度も繰り返して言い、児童にI like ~. You like ~.の表現を何度も聞かせるようにする。	教師用カード(色)
5 分	本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2 分	○歌 Goodbye Song (Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目 標 外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに好みを表す表現に慣れ親しむ【慣】
 準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(色・スポーツ), 児童用巻末絵カード(色, スポーツ), 菓子箱などの具体物, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○歌 Hello Song (Unit 2)	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
5分	○シャッフル・クイズ ・指導者とともに色を確認する。 ・指導者がさしたカードが何色かを答える。	・自身や児童が着ている服, 前時に児童が描いた虹などの色を取り上げて, 児童とともに色を確認しながら, その色の教師用カード(色)を黒板に掲示していく。 Look. This is red. This is ...? Yes, that's right. This is blue.	教師用カード(色)
シャッフル・クイズの進め方 ・黒板に掲示した教師用カード(色)でシャッフル・クイズをすることを告げる。 ・再度児童と色を言いながら, 順に色カードを裏返す。児童に入れ替えた順が分かるように2, 3回入れ替える。1枚のカードを指し, What color?と児童に尋ねる。児童の答えに応じて, カードを表に返し, 色を確認する。 ・この活動を通して, 児童に何度も色の言い方を聞かせたり, 言わせたりして, 慣れ親しませるとともに, Doyou like ~?と尋ね, Yes, I do. No, I don't.と答えるように促す。			
5分	○【Lets Listen 1】 p.16 ・誰が何色を好きかを聞いて線で結ぶ。	・テキスト登場人物が何色が好きかを予想させ, それを t 確かめるために音声を聞かせるようにする。 1 Hello! I'm Takeru. I like yellow. 2 Hi! I'm Sayo. I like blue. 3 Hello! My name is Robert. I like red. ◎色を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
3分	【Let's Sing】 The Rainbow Song p.15 ・音声に合わせて歌う。	・まずは音声だけを聞かせて, 児童に聞き取れた色を探ねる。 Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.	デジタル教材
5分	○先生の好きなものとそうでないものを知ろう。 ・指導者の好きなもの, そうでないものについての言舌を聞く。	・児童の好きそうなお菓子や, キャラクターのイラストなどを示しながら, 自身の好きなもの, 嫌いなものを I [like / don't like] ~. を使って紹介する。その際, 一方的に紹介するのではなく, 児童に Do you like ~?と尋ね	菓子箱などの具体物
進め方 黒板にハート(likeを表す)と割れたハート(don't likeを表す)を描き, 色カードや菓子箱, 包装紙等を見せ, 児童に Do you like ~?と尋ね, Yes? No?などとジェスチャーで示しながら手を上げさせる。次に指導者は, それについて I [like / don't like] ~.とジェスチャーを付けて言い, 児童に好きかどうかを予想させる(手を上げさせてもよい)。最後に, ジェスチャーを交え, I [like / don't like] ~.と正角罫を言って, ハートや割れたハートの下に, それを表すカード等を貼る。アニメのキャラクターなどについても同様にし, I [like / don't like] ~.の表現に出会わせ, その意味を理解させるようにする。			

8 分	【Let's Listen 2】 p. 16 ・音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。	・登場人物の好きなスポーツやそうでないスポーツを聞いて番号を書かせる。その際、いきなり音声を聞かせて、活動させるのではなく、音声を聞かせる前に、登場人物の好みを予想させ、自身の予想が合っているかを確かめるために音声を聞くというような場面設定をする。 T: Look at your textbook. This is 'soccer'. Do you like soccer? This is 'baseball'. Do you like baseball? Yes? Good. Please listen	名デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(スポーツ)
	① Hi, I'm Takeru. I like soccer. I don't like baseoail. ② Hello. My name is Sayo. I like basketball.I don't like swimming. ③ Hello! I'm Emily. I like swimming. I don't like dodgeball.	◎色を聞いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
2 分	【Lefs Chant】 I like blue. p. 15 (②"I like soccer"スポーツ編) ・音声に合わせてチャンツを言う。	・スポーツの言い方を再度聞かせ、児童に繰り返させながら、音声の違い等に気付かせるようにする。児童に繰り返させる際には、指導者も一緒に言い、語のイントネーションを手の上下で示すなどして、音声だけではその特徴をつかみにくい児童も音声の違いに気付きやすいようにする。 "I like soccer."(スポーツ編) I like soccer. I like dodgeball. Ummm, I don't like baseball. I like tennis. I like basketball. Ummm, I don't like swimming. ◎英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉	デジタル教材
8 分	○カード・デステイニー・ゲーム	・カード・デスアイニー・ゲームをすることを告げる。 T: Lets play the Card Destiny Game. Are you ready? The first card is "red" ! Who has the 'red' card? Please say, 'I like red.' or 'I don't like red.' and put the 'red' card down on your desk.	振り返りカード
	カード・デステイニー・ゲーム進め方 ペアで行う。児童用カード(色、スポーツ) 1セット分を2人で適当に分けて持つ。指導者も同じカードを持ち、その中から1枚引いて、"Soccer!"等と言う。言われたカードを持っている児童は、I [like / don't like]~.と自分の気持ちを言いながらカードを机に置く。手持ちのカードがなくなったら上がり。		
		◎好みを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2 分	○歌 Goodbye Song (Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目 標 好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う【コ】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(色・スポーツ・飲食物・野菜)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ~. How are you? ○歌 Hello Song (Unit 2)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材
5分	【 Letfs Sing 】 The Rainbow Song p.15 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 Red and yellow and pink and green, purple and orange and blue, I can sing a rainbow, sing a rainbow, sing a rainbow, too.	デジタル教材
	【 Lets Listen 3 】 p.16 ・会言舌を聞いて、登場人物の好きなものを○で囲む。 (色, スポーツ, 飲食物, 野菜)	・【Let's Listen】で扱われている色, スポーツ, 食べ物の絵カードを見せながら、それが好きか嫌いかを言い、児童にそれが好きかを探ねる。児童に Yes? /No? とさらに尋ね、児童の答えに応じて、黒板に描いたハート、害 したハートの下にその絵カードを貼っていく。この活動を通して、Do you like ~?が好みを尋ねていることを分らせるようにする。さらに、数名の児童に Do you like ~?と絵カードを見せながら尋ね、頼 準を深めて【Let's Listen】につなげる。 ・登場人物が好みを尋ね合う会言舌を聞かせて、誌面の表に。 を言 己入するように伝える。 T: Let's listen. Please draw a circle in the box.	デジタル教材 教師用カード 教師用カード (色・スポーツ・飲食物・野菜)
	(① と②は、会話の順どおりではなく、答えが Yes か No かに応じて、分けて示している。) ① エミリー : Do you like pudding / milk / yellow / baseball? やまと : Yes, I do. エミリー : Do you like ice cream / onions / red / green / swimming? やまと : No, I don't. ② やまと : Do you like ice cream / milk / onions / red / swimming? エミリー : Yes, I do. やまと : Do you like pudding / green / yellow / baseball? エミリー : No, I don't. やまと : Wow, pudding! I like pudding. Emily, do you like pudding? エミリー : No, I don't, but I like ice cream. Do you like ice cream? やまと : No, I don't. I don't like ice cream, but I like milk. エミリー : Oh! Me, too. I like milk.		
7分	【 Lets Watch and Think 2 】 p.17 ・登場人物が好きかどうかを予想、して○や△を記入し、Do you like ~?と尋ねる。	スポーツ, 食べ物等の英語を言いながら(デジタル教材を聞かせてもよい) その絵カードを黒板に掲示する。その際、児童と一緒に言うように促したり、児童の絵カードの一部を見せてそれが何かを尋ねたりするとよい。 T: What's this? A carrot? That's right. ・登場人物の好みを予想して誌面の表に○や△を記入する。 画面に出ている登場人物に向かって、好きかどうかを全員で尋ね、自身の予想と合っているかどうかを確認させる。この活動を通して、Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't.の表現に慣れ親しませるようにする。 T: Let's ask together. Do you like ~?	デジタル教材 児童用テキスト

8 分	○ ○×クイズ ・友達に好き嫌いを尋ねる。	・代表の児童(S1)を前に出す。前の活動で使用した絵カード等を使い、何について尋ねるかを S1 以外の児童と相談して決め、好みを予想する(○×を手で示すなどしてもよい)。その後、全員で Do you like ～?と代表の児童(S1)に尋ね、予想と合っているかどうかを確認させる。 T: Please guess if [S1] likes blue or not. Everyone, let's ask [S1] together. ◎好きかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動!見察・振り返りカード点検〉	教師用カード (色・スポーツ・飲食物・野菜)
3 分	【Let's Chant】I like blue.p.15 ((③'Do you like soccer?'スポーツ・QA 編)	・児童と一緒に歌う。 “Do you like soccer?”(スポーツ・QA 編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.	デジタル教材
9 分	【Let's Play】 p.17 ・友達の好き嫌いを予想してインタビューする。相手を替えて再度行う。	・ペアになり、誌面の表に描かれている色やスポーツなどについて、好き嫌いを予想して○×を書かせる。 ・互いに尋ね合い、予想と合っているかを確認させる。 T: Please make pairs. Guess if your partner likes this or not. Please draw a circle or a cross in the box. Please ask each other. ◎自分の好みを伝え合っている。〈行動見察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2 分	○歌 Goodbye Song (Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- (The “A” card), please. Here you are. Thank you. You’re welcome.
- 大文字(A～Z), the, card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数(21～30, 0), book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht
- [既出] 挨拶, you, are, 数(1～20), apple, crayon, eg, lemon, orange

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4. 単元計画(4時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○) 【 】＝誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆活字体の大文字の読み方を知るとともに、身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付く。【慣】【気】 【Let’s Watch and Think】 p.22,23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。 ○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。 ・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つける。 【Let’s Sing】 ABC Song p.23 ○ポインティング・ゲーム(A～M) ○歌 Goodbye Song (Unit2)	◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】 【Let’s Sing】 ABC Song p.23 ○何の文字か当てよう。 ・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か当てる。 ○文字を並べよう。 ・児童用巻末アルファベットカード(A～M)をAから順に並べる。 ○ポインティング・ゲーム(N～Z) ○線つなぎ	◎活字体の大文字の読み方を聞いたり

	・指導者が言う大文字の読み方の順に、その文字を線でつないでいく。 ○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。 ○歌Goodbye Soong(Unit2)	言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】 【Let's Sing】ABC Song p.23 ○ビンゴ・ゲーム 【Let's Play】p.24 ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けする。 ○アルファベットの文字を集めよう。 ○歌Goodbye Song (Unit2)	◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【コ】 【Let's Sing】ABC Song p.23 ○アルファベット並べゲーム ・友達と協力し合って、アルファベットカードを順に並べる。 【Activity】p.25 ・自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。 ・自分の姓名の頭文字を紹介する。 ○歌Goodbye Song (Unit2)	◎自分の姓名の頭文字を伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉

目 標 身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。【慣】【気】

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(大文字), 児童用カード(大文字), 写真等, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
8分	【Let's Watch and Think】 p.22,23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。 スクリプト 指導書P24	・映像資料の町の中、または指導者が用意した写真 ・(駐車場の「P」、店の看板など児童がよく目にしているもの)、テキストの誌面などからそれぞれが何を表しているかについて考えさせながら、「アルファベット」という文字と、その名称に出会わせる。 ・教師用カード(大文字)を黒板に掲示して、次の活動につなげる。	写真等 デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(大文字)
10分	○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。 ・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つける。 ・身の回りからアルファベットの大文字を探して発表する。	・黒板に掲示したアルファベットの大文字を、誌面から探させ、児童の答えに応じて、さらにアルファベットの文字の読み方(名称)を何度も聞かせ、文字と名称が一致するようにする。 ・誌面の町の絵の中からアルファベットの大文字を見つけさせ、デジタル教材でその読み方を再度確認する。 ・身の回りからアルファベットの大文字を探させる。 ◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(大文字)
5分	【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に掲示した教師用カード(大文字)をさし示しながら、一緒に歌う。慣れたら、少しずつスピードを速め、楽しく歌わせる。	デジタル教材 教師用カード(大文字)
13分	○ポインティング・ゲーム (A～M) ・言われた文字を指でさす。 ①ペアで行う。 ②個人で行う。	・ポインティング・ゲームをすることを告げる。児童用巻末アルファベットカード(A～M:カードは切り離さない)のページを使用して行う。指導者は、アルファベットの名称を言い、児童にその文字を指さすように言う。 ・最初はペアで、1枚のページで行う。慣れてきたら、1人1枚のページで行わせる。 ・次時まで、アルファベットの大文字A～Mカードを切り離しておくように伝える。	教師用カード(大文字) 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の気付きや本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目 標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(大文字), 児童用カード(大文字), ワークシート(Unit6-1`6-5), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材 児童用テキスト
15分	○何の文字かな。 ・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か考えて答える。 ○文字を並べよう。 ・児童用カード(A～M)をAから順に並べる。 ※体でアルファベットを作ろう。 ・友達と協力してアルファベットを体で表す。 ・4人程度のグループか、学級全体で行う。 ・比較的、体で形を捉え易いアルファベットを事前に選び児童の代表者に引かせるなどする。 ・グループごとに協力して体で文字を作って披露し、他のグループが何の文字か考えて発表する。	・指導者は、教師用アルファベットカードを一瞬見せたり、黒板に大きくアルファベットの大文字をゆっくり書いたりしながらWhat's this(letter)?と尋ね、アルファベットの名称の言い方を思い出させる。 ・本時までに切り離しておいた児童用巻末アルファベットカード(A～M)をAから順に並べるように言い、必要に応じて支援をする。 ※上記2つの活動の代わりに、児童の実態に応じて、「体でアルファベットの大文字を作ろう」をすることも考えられる。 ※進め方 ・まず、指導者が体でアルファベットの大文字を表し、What's this(letter)?などと児童に尋ね、活動への意欲付けを図ると良い。学級の人数により形態を配慮する。	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字)
8分	○ポインティング・ゲーム(N～Z) ①ペアで行う。 ②個人で行う。	・ポインティング・ゲームを前回と同じ進め方で行う。 指導者は、Point to the letter'N'. などと言う。 ・次時までに、アルファベットの大文字N～Zカードを切り離しておくように伝える。	教師用カード(大文字) 児童用テキスト
5分	○線つなぎ ・指導者が言う大文字の読み方の順に、その文字を線でつないでいく。	・AからZまでの読み方(名称)を確認した後、アルファベットの読み方を言い、そのアルファベットの文字をつないでいくように告げる。 ・文字の読み方を言った後、アルファベットの文字を示すなどして、児童の実態に合った支援を行う。 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。<行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート(Unit 6-1～6-5)
5分	○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。	・前時と同様、教室や児童の文房具や洋服等の中からアルファベットの大文字を見つけ、その読み方とともに発表させる。児童の実態に応じて教室や学校内に広げる。	児童の持ち物(文房具など)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目 標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(大文字), 児童用カード(大文字), 児童用カード(大文字)のコピー, Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
8分	○ビンゴ・ゲーム ・自由に児童用カードを並べ(3×3, 4×4など)指導者が読み方を言ったカードを裏返していく。 ・縦, 斜め, 横一列にカードが裏返れば, ビンゴと言う。	・児童はペアで, 文字カードの内から9枚を選び, 机の上縦・横3列に並べる。児童の実態に応じて16枚(4×4), 25枚(5×5)も可。また, 13枚ずつ2回に分けて(A～M,N～Z)行うことも考えられる。 Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート)を活用してもよい。 ・ランダムにアルファベットの文字の名称の読み方を言う。 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字) Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート)
17分	【Let's Play】 p.24 ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けし, テキストに置く。	・アルファベットの文字の形への認識を深めさせることがねらいである。 ・直線のみ文字, 曲線のみ文字, 左右対称, お気に入りの文字など, 自由な発想で仲間分けさせる。 ・最後に, 発表させて仲間分けの理由を共有する。	児童用カード(大文字)
8分	○アルファベットの文字を集めよう。 ・2回程度行う。	・デモンストレーションをして, 進め方を理解させる。 ・アルファベットの文字の名称の読み方とともに, 次時のやり取りで使用する表現にも慣れさせることがねらいである。 ※進め方 ・児童が名称を言いやすいアルファベットの文字5～6種類程度のカードを人数分用意する。全てのカードをシャッフルしておき, 1人に5～6枚のカードを配る。 (同じアルファベットの大文字カード黒板に掲示しておく) ・児童は, 配られた文字を見て, Aから順に揃えとか, 全部同じアルファベットにするなど, どのように集めるかを心の中で決める。 ・自由に歩き, 相手を見つけて, Hello(欲しいアルファベットの文字), please.と言う。それを持っていたらHere you are.もらったらThank you You are welcome.などと言う。持っていなかったら, Sorry.と言って, 違うカードを渡す。その場合もThank you.と言う。2～3分程度で席に着く。	児童用カード(大文字)のコピー
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目 標 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【コ】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(大文字)、児童用カード(大文字)とそのコピー、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。自分の名前の頭文字の時に立ったり座ったりするなどのアレンジもできる。	デジタル教材
8分	○アルファベット並べゲーム ・友達と協力し合って、アルファベットカードを順に並べる。	・黒板に、AからZまでの教師用カードをアルファベット順に掲示しておく。 ・ペアで協力しながらAからZまでのカードを机上に並べさせる。(立って並べ、完成したら席に座るなどしてもよい)時間を計るなどして意欲を高めながら数回行う。 ・児童の実態に応じて、ZからAへと逆に並べるなど難易度を上げてよい。	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字)とそのコピー(2人に1組分)
18分	【Activity】p.25 ・自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。 ・文字カードを渡す役と、もらう役に分かれる。	・活動のモデルを示し、進め方を理解させる。 ・事前にカードを複数セット作成しておく。(児童用カード(大文字)をコピーして切っておく。) ・児童を、渡す役ともらう役に分けて活動させる。時間を区切って役割を交替させる。 ・時間に余裕があれば、友達や家族のイニシャルを作成させてもよい。	デジタル教材 児童用カード(大文字)のコピー
7分	・自分の姓名の頭文字を紹介する。	◎自分の姓名の頭文字を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・デジタル教材を見せたり指導者がモデルを示したりして、児童に活動への見通しをもたせながら意欲付けを図る。 ・デモンストレーションで使用する表現を確認し、隣どうして紹介し合い活動に慣れさせる。 ・個に応じた支援を行い、自信をもって積極的に活動できるようにする。 ・グループや学級全体で、もしくは自由に歩いて紹介し合うなど、学級や児童の実態に合わせて紹介の仕方を工夫する。 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

単元名 What's this? これなあに？

1. 単元目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・クイズを出したり答えたりし合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.

○it, hint, sea, 動物 (elephant, horse), spider

[既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. No. Sorry. 数(1~30), 果物・野菜, 飲食物, 動物, 色, 形, 状態・気持ち, what, is, this, please

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4. 単元計画 (2時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○) 【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。【気】【慣】 【Let's Play1】 p.31 ・映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。 【Let's Play2】 p.32 ・シルエットや断面図から何かを当てる。 ○シャッフル・ゲーム 【Let's Chant】What's this? p.31	◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析> ◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】 【Let's Chant】What's this? p.31 ○What's this? クイズ ○ステレオ・ゲーム 【Activity】①ヒント・クイズQ1 p.32,33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>

3年Unit8-Lesson1 What's this? これなあに? 1/2時間

目 標 外来語とそれが由来する英語の違いに気付く、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。【気】【慣】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(野菜、果物、動物)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
13分	【Let's Play1】p.31 ・映像資料を視聴し隠れている物が何かを考える。 スクリプト【指導書 P32】	・誌面を示しながら、What's this? What can you see?などと尋ね、場面を理解させるとともに、自然の中で遊んだ経験を引き出すなどして活動への意欲付けを図る。 ・虫眼鏡の中に見える物についても、What's this?と問い、個人やグループで予想させ、デジタル教材で答えを確かめる。 ・自然な会話の中で、昆虫など身の回りの物の言い方やある物が何かと尋ねる表現と出会わせるようにする。(見開きページ左から) (春)カラスの巣(夏)クモ(秋)ガの羽(冬)フクロウ	デジタル教材 児童用テキスト
10分	【Let's Play2】p.32 ・シルエットや断面図から何かを考えて答える。 (上段左から)にんじん・きゅうり・桃・パイナップル (下段左から)玉ねぎ・ピーマン・オレンジ・トマト	・映像のシルエットや断面図を見せ、それぞれが何かを考えさせ、発表させる。児童の答えを引き出しながら、野菜などの言い方に出会わせる。 ・peach pineapple orange tomatoなど、外来語としてなじみのある野菜や果物を扱うことから、英語での言い方に出会わせる際に、日本語では手をフラットに移動して発音して聞かせ、英語の場合には、強く発音する部分などは、手をあげたりして、音声の違いに気付かせるようにする。 ◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。<行動・観察・振り返りカード分析>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(野菜、果物)
8分	○シャッフル・ゲーム	・身の回りの物の言い方を確認し、デモンストレーションで進め方を示す。 ※進め方 ・英語での言い方を確かめながら、順に教師用カード(野菜、果物、動物)を裏返す(3~4枚)。児童に入れ替えた順が分かるように、2, 3回入れ替える。カードを表に返し、確認する。絵カードを慣れ親しませる。 ・1枚のカードをさし、児童の答えに応じて What's this?と児童に尋ねる。 えたりして活動を繰り返し、身の回りの物の言い方に ◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	教師用カード(野菜、果物、動物)
5分	【Let's Chant】What's this?p.31 動物(犬・猿・虎)	・最初は画面を見せずに、音声だけを集中して聞かせ、どんな英語が聞こえたかを尋ねるなどして、意欲付けを図る。 ・画面を見ながらクイズに答えるような気持ちで、リズムに乗って楽しく言わせるようにする。慣れたら、動物の部分を自由に替えてオリジナルチャンツを作って言ってもよい。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(動物)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
4分	【Let's Chant】What's this?p.31 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	○What's this?クイズ	・指導者は、これまでに児童が慣れ親しんだ語彙の教師用カードの上に、無地のカードを重ねて持ち、児童にWhat's this?と尋ねる。児童にHint, please?とヒントが欲しいか尋ね、児童からHint, please.という表現を引き出しながら無地のカードを少しずつずらして、その下にある絵の一部を見せ、What's this?と尋ねる。これを繰り返しながら、児童にこれまでに慣れ親しんだものを思い出させたり、ある物が何かを尋ねる際の表現を何度も聞かせ慣れ親しませたりするようにする。	教師用カード(動物、果物、野菜) 教師用カード(大文字)
10分	○ステレオ・ゲーム What's this? It's ~.	・ステレオ・ゲームをすることを告げ、デモンストラーションで進め方を示す。最初は、指導者がWhat's this?と尋ねるが、児童も一緒に尋ねるよう促す。活動中は個に応じた支援を行う。	教師用カード(動物、果物、野菜) 教師用カード(大文字)
	ステレオ・ゲームの進め方 ・黒板に5～6枚の絵カードを貼る。代表児童を3～4名指名し、それぞれの児童に、黒板の教師用カードと同じものの中から選んだカードを、他の児童に見えないように持たせる。他の児童は、全員でWhat's this?と、代表児童が持っているカードを指しながら尋ね、代表児童は、同時に、(It's)~.と答える。それを聞いて、誰が何と言ったか当てるゲーム。表現に慣れ親しませることがねらい。	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	
12分	【Activity】①ヒント・クイズQ1p.32,33 ・3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。 スクリプト【指導書P34】	・デジタル教材を使って、ヒント・クイズのQ1のみを出題する。Q1はヒントが単語レベルであるが、Q2,3は文レベルであることから次時で扱い、本時ではQ1のみを扱う。 ・3つのヒントの音声を聞かせ、それが何かを考えて答えさせる。これを参考に、児童がこれまでに慣れ親しんだ語句を使って、以下のようなヒントを考えて出題する。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(色、形、野菜、果物、動物、大文字)
		進め方 ・事前に、黒板に掲示した絵カードの中から、1枚を封筒に入れておき、その封筒を指さしてWhat's this?と問い、児童の興味をひく。そして、Hint1. A fruit. Hint2. Red. などとヒントを出して、それが何かを考えて答えさせる。児童がこれまでに慣れ親しんではないが、指導者のジェスチャーや児童用テキストのイラストで、見たたり聞いたたりしたことがあるような語彙で類推しやすいvegetable, animal, appleなどをヒントでなんとなく分かる体験をさせるようにし、活動につなげる。	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

単元名 Who are you? きみはだれ?

1. 単元目標

- ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)・絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

○ Are you(a dog)?Yes, I am. /No, I'm not. Who are you? I'm(a dog).Who am I? Hint, please.

○ who,動物(cow,dragon,snake,tiger,sheep,chicken,wildboar),状態・気持ち(long,shiny,scary,round,fury),
身体の部位(head,eyes,ears,nose,mouth,shoulders,knees,toes)

[既出]挨拶・自己紹介, I like(blue).Do you like (blue)? Yes, I do. /No, I don't. What(sport)do you like? How many (apples)?are, not,色,形,状態・気持ち,動物,果物・野菜,飲食物,数(1~30)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4. 単元計画(4時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】、○) 【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。【気】 ○絵本の読み聞かせを聞く。(1回目) ○Who am I?クイズ① ・ヒントを聞いて、何の動物が当てる。 ○ビンゴ・ゲーム(動物)	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析> ※第2時と合わせて評価を行う。
2	◆絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。【慣】 ○絵本の読み聞かせを聞く。(2回目) ○絵本の場面についての話を聞き、それがどのページかを探す。 ・話を聞き、ペアでその場面を探して指さす。 ○Who am I?クイズ②(身体の一部) ○歌Head,Shoulders,Knees and Toes	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析> ◎絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかんでいる。<行動観察・振り返りカード点検>
3	◆日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付くとともに、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】 ○歌Head,Shoulders,Knees and Toes ○Please Touchゲーム	◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>

	○絵本の読み聞かせを聞く。(3回目) ○場面カード並べ ・読み聞かせを聞きながら筋に合うよう、場面カードを並べる。 ・場面カードを見ながら、指導者と一緒に場面の台詞を再現する。 ○チェーン・ゲーム	◎誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【コ】	
	○歌Head,Shoulders,Knees and Toes ○絵本の読み聞かせを聞く。(4回目) ○Who are you?クイズ ○発表会の準備をする。	◎誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

3年Unit9-Lesson1 Who are you? きみはだれ? 1/4時間

目 標 絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかむとともに、日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。【気】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(ワークシートUnit9-2の動物を拡大して切り抜いたもの)、児童用カード(動物)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
15分	○絵本の読み聞かせを聞く。 (1回目)	・まず、デジタル教材で絵本の最初の場面 (テキストp.34,35)を見せ、What can you see?などと問い、 場面や状況をつかませる。児童自身が「かくれんぼ」をした 経験なども引き出しながら、絵本への興味付けを図る。 ・読み聞かせをする。 読み聞かせの進め方 ・児童が「英語を聞いてなんとなく分かった」と実感できるよ う、意味を推測する手がかりとなるような豊かな表情やジェス チャーで読み聞かせを行う。また、誌面の文字を読むだけ でなく、児童の様子を観察しながらI like dogs. Do you like dogs? などと質問をしたりCan you guess? と隠れている動物 を推測させたりしながら、児童を絵本の場面に引き込むよう にする。 ※デジタル教材の音声を聞かせたり、ALTが読み聞かせを 行ったりする方法もある。児童の実態等に合わせ読み手や 読み聞かせの方法を工夫する。	デジタル教材 児童用テキスト
8分	○Who am I? クイズ① ・ヒントを聞いて、何の動物か考えて答 える。	・絵本に登場した動物について質問をしながら、絵本の 話の楽しさを共有したり、動物の言い方に出会わせたり する。絵本にどんな動物が登場したか児童に尋ね、児童 の答えやつぶやきを拾いながら、絵カードを見せ確認す る。「Who am I? クイズ」をすることを告げる。	デジタル教材 児童用テキスト教師用カ ード(ワークシート Unit9-2の動物を拡大し て切り抜いたもの)
Who am I? クイズ①の進め方・クイズ例 ○I'm small. I like cheese. I have a long tail. (mouse) ○I'm white. I like carrots. I have long ears. (rabbit) ○I'm gray. I'm big. I have a long nose. (elephant) ○I'm brown. I like bananas. Cute. (Monkey). I'm ○Are you?と尋ね させ、指導者は、その動物の絵カードを見せながらI'm. ・児童が予想して言ったら、Who am I?と回答を言う。児童が慣れてきたら、児童にI'm.と言うよう促す。			
13分	○ビンゴ・ゲーム(動物)	・動物の言い方を確認し、進め方を示す。	児童用カード(既習の動 物も含む)(2人に1セッ ト)
		ビンゴ・ゲームの進め方 ・児童はペアで児童用絵カードの中から9枚を選び、机の上 に縦3×横3列に並べる。 ・児童は一斉にWho are you?と指導者に尋ね、指導者はI' m.と答える。児童はその動物の言い方を繰り返し、絵カード があれば裏返していく。縦、斜め、横一列にカードが裏返れ ば、ビンゴと言う。 ・活動を通して、絵と音声を一致させていくことがねらい。慣 れてきたら、児童に指導者役をさせてもよい。 ◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いて いる。<行動観察・振り返りカード分析>	※「絵本などの短い話 を聞いておおよその内 容をつかむ」という目標 に向かって指導を行い、 第2時と合わせて評価を 行う。
5分	・本時の活動を振り返り、振り 返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児 童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

3年Unit9-Lesson2	Who are you?	きみはだれ?	2/4時間
目 標	絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。【慣】		
準 備	デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(動物)、場面ごとのカードなど(必要に応じて)、動物の写真など、振り返りカード		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm`. How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(2回目) ・言える部分は一緒に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。 ・2回目となるので、言える部分は児童の発話を促し、児童が参加できるような雰囲気を作る。 ・児童の意欲を高めるため、デジタル教材を使用したりALTが読んだりして、読み聞かせの方法に変化をつけるなど工夫する。 ◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	○絵本の場面についての話を聞き、それがどのページかを探す。 ・話を聞き、ペアでその場面を探して指さす。	・デモンストレーションをして活動方法を理解させる。最初は、ペアで行うとよい。慣れてきたら、個人で行う。 ・“1,2,3,4... Ready or not, here I come!”などとジェスチャーなどを付けて絵本の1ページを読み、児童にその場面のページを開かせる。場面ごとのカードをつくり、それをカルタの要領で押さえるようにしてもよい。 ◎絵本などの短い話を聞いておおよその内容をつかんでいる。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト(必要に応じて、場面ごとのカードなど)
10分	○Who am I? クイズ② (身体の一部) Who am I?クイズ②の進め方・クイズ例 ・写真やイラストを使って、体の一部を見せ(封筒に入れたり、穴をあけた台紙を上を重ねる)たり、スクリーンに映し出したりして、考えさせる。 This is my nose. などと言い、児童の興味を引きながら何の動物かを頭、目、耳、口、鼻などに特徴がある動物を扱うとよい。体の部位を表す言い方に慣れ親しませることがねらい。指導者が写真やイラストを見せるなどして答えを確かめさせる。 ・予想したら、全員でWho are you?	・動物の言い方を確認し、活動方法を示す。動物の体の一部を見せて、何の動物か考えて答えさせる。	動物の写真など 教師用カード(動物)
6分	○歌Head,Shoulders,Knees and Toes	・指導者は、head,shoulders,knees,toes,eyes,ears,mouth,noseと言いながら、自身の体のその部位を触る。児童を立たせ、一緒に言いながら自身の体の部位を触るよう促す。何度か繰り返した後、徐々にゆっくり歌のメロディーを付けて歌う。 ・児童が慣れてきたら、歌のスピードを上げていく。	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

目 標 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付くとともに、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(動物)、場面カード(ワークシートUnit9-1の6種類のカードを事前に切り取らせておく)、振り回りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
5分	○歌Head, Shoulders, Knees and Toes	・第1時と同様にして歌を歌う。徐々にスピードを上げるなど歌い方に工夫をし、児童の意欲が維持されるようにする。(デジタル教材には収録されていないが、市販の歌CDを活用したり、インターネットを活用したりすることも考えられる。)	
5分	○Please Touch ゲーム Please Touchゲームの進め方 ・Please touch your(head/eyes/mouthなど).と言い、指導者は言った体の部位をタッチする。児童もそれをまねて、言われた部位をタッチする。ただし、pleaseが付かない場合は、動いてはいけない。スピードを速くしたり、指導者がわざと違う部位を触ったりして、活動に変化をつけ児童の意欲が持続するようにする。	・モデルを示して進め方を理解させる。 ・色や形状についてPlease touch something white/black/long/big/small. など言うこともできる。 ◎日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付いている。〈行動観察・振り回りカード分析〉	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(3回目) ・言える部分は一緒に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。3回目となるので、言える部分は児童の発話を促し、児童が参加できるような雰囲気を作る。 ・読み聞かせの方法に変化をつけるなど工夫する。	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト
10分	○場面カード並べ ・読み聞かせを聞きながら筋に合うよう、場面カードを並べる。 ・場面カードを見ながら、指導者と一緒に場面の台詞を再現する。	・ペアに、ワークシートUnit9-1の場面カード6種類を1セット用意させる。読み聞かせを聞きながら、協力して、場面カードを筋にあわせて並べさせる。 ・6種類並べ終わったら、その場面の絵本の文を話の筋にあわせて読む。児童も一緒に言うよう促す。	場面カード(ワークシートUnit9-1の6種類のカードを事前に切り取らせておく)
6分	○チェーン・ゲーム Who are you? I'm~. チェーン・ゲームの進め方 【指導書P39】	・デモンストレーションをして進め方を理解させる。	教師用カード(動物)
5分	・本時の活動を振り返り、振り回りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り回りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

目 標 誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【コ】

7

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(動物), 児童用カード(動物:4～5種類人数分), 場面ごとのカードなど
(必要に応じて), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm~. How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	○歌 Head, Shoulders, Knees and Toes	・児童と一緒に歌う。(デジタル教材には収録されていないが, 市販の歌CDを活用したり, インターネットを活用したりすることも考えられる。)	
10分	○絵本の読み聞かせを聞く。(4回目) ・言える部分は積極的に言う。	・ジェスチャーを交えながら表情豊かに読み聞かせをする。4回目となるので, 積極的な児童の発話を促し, 児童が参加できるような雰囲気を作る。	教師用カード(動物) デジタル教材 児童用テキスト
8分	○Who are you?クイズ Who are you? Are you~? Yes. I'm~. Sorry.	・活動を通して, 相手がだれかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませるようにする。 ◎誰かと尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	児童用カード(動物: 4～5種類人数分) 教師用カード(動物)
		Who are you? クイズの進め方 ・教師用カード(動物)を見せ児童と一緒に動物を言いながら, 黒板にカードを掲示する。同じ動物の児童用カード(動物)を児童にアトランダムに一枚ずつ配る(首にかけるようにしてもよい)。 ・児童は自由に歩き, 相手を見つけて, Hello. Who are you?と尋ねる。尋ねられたら, ジェスチャーや鳴き声などでヒントを出す。相手の児童は, Are you~?と予想をして尋ねる。合っていたらYes!! I'm~.違っていたら, Sorry. I'm~.と言う。相手も同様に繰り返す。	
15分	○発表会の準備をする。 I see something~. Are you a (an) ~? Yes, I am. I'm a(n)~.	・デモンストレーションをして活動方法を理解させるとともに, 児童の意欲を高める。使用する表現を確認する。 ・実態に応じて, ペアやグループで行う。絵本の中から紹介したい場面を1～2つ選び, 役割を決めるなどして練習させる。 ・誌面の通りに真似することを求め過ぎないようにして児童の工夫やアレンジも認め, 積極的な態度を称賛し, 意欲が高まるようにする。	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(動物) (必要に応じて, 場面ごとのカードなど)
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	・挨拶をする。	・挨拶をする。	

2019 年度 那覇市小学校外国語活動 指導案例集

2019 年度カリキュラム作成委員 教諭

所 属	氏 名	所 属	氏 名
真和志小学校	新城 秀樹	壺屋小学校	ウィルキンソン麻子
真地小学校	山里 莉央	天久小学校	岸本 綾乃
銘苅小学校	武村 美香	石嶺小学校	亀川 智洋
若狭小学校	與那覇 綾子		

那覇市教育委員会 指導主事	名嘉 めぐみ
那覇市立教育研究所 指導主事	金城 里子